

令和2年度 学校評価(後期)結果

* 前年の前後期比較(今年度前期は休校期間があったため実施せず)

		評価項目	今回 ^(R2後期) 肯定的評価 (%)	前年後期の 肯定的評価 (%)	前年前期の 肯定的評価 (%)	比較
独 独	A 確 かな 学 力	1 お子さんは、授業がわかりやすいと言っている。	87.7	84.1	86.3	↑
		2 お子さんは、わからないことを自分から調べるなど、いろいろなことに興味を持って学習に取り組んでいる。	64.1	62.6	59.5	↑
		3 お子さんは、家庭学習の習慣が身についている。	75.5	75.0	75.9	—
		4 お子さんは、読書に親しんでいる。	60.2	53.4	59.9	↑
		5 お子さんは、自分の思いや考えをわかりやすく伝えている。	69.6	53.3	68.7	↑
独	B 豊 かな 心	1 お子さんは、友だちや近所の人などに、自分から進んであいさつをしている。	71.3	72.8	77.3	↓
		2 お子さんは、自分の役割に責任を持って取り組んでいる。	88.4	81.1	82.9	↑
		3 お子さんは、誰とでも優しく関わっている。	92.5	89.3	92.9	↑
		4 お子さんは、楽しく学校生活を送っている。	94.2	91.2	94.1	↑
独	C 健 や かな 体	1 お子さんは、すすんで(外で遊ぶなど)体を動かしている。	74.0	75.6	77.3	↓
		2 お子さんは、自らの安全(交通事故・けがなど)に気をつけて生活している。	92.5	86.3	85.4	↑
		3 お子さんは、規則正しい生活習慣(睡眠・食習慣など)が身についている。	82.5	79.3	81.7	↑
		4 お子さんは、学校給食を楽しみにしている。	81.9	83.1	81.2	↓
独	D 信 頼 さ れ る 学 校	1 学校は、目指す子どもの姿や学校経営方針について、保護者に理解されるよう努めている。	92.5	82.7	83.1	↑
		2 学校は、保護者や地域の方々とともに、子どもを育てる取組を進めている。	90.4	82.5	83.6	↑
		3 学校は、保護者の思いや願いに対して適切に対応している。	89.9	80.2	83.3	↑
		4 学校は、特色ある取組や教育を進めている。	76.7	76.8	69.5	—
		5 学校は、子ども一人一人に適切な指導や支援を行っている。	83.9	71.3	74.1	↑
		6 学校は、児童の安全確保に努めている。	88.0	85.2	88.1	↑

<校長コメント>

○まず、全体としての大きな評価の伸びはありがたく受け止めたいと思います。もちろん、数値だけで測れるものではなく、また保護者や地域の皆様の協力あっての結果ですが、コロナ禍で様々な変更が繰り返される中、右往左往しながらも精一杯に取り組む教職員には励みになる結果です。

○全体として、感染症に係る影響も結果に表れたと思います。児童の読書や安全留意(A4,C2)のアップ、運動や給食(C1,C4)のダウンなど。給食は皆前を向き黙々とせざるを得ない状況下では、よく留まっている感もあります。(子供も頑張っています)一方、休校を通して家庭学習の習慣に結び付ける取組も期待したところですが、その点は充分ではあられませんでしたので、今後、家庭学習の定着に向けた新たな方策を検討します。(A3)
○挨拶(B1)も課題です。する・しないの二極化の傾向も感じますので、挨拶の意義理解と習慣化の両面で検討します。

- 前年後期比 5P以上増加 ↑
- 前年後期比 5P以上減少 ↓↓
- 前年後期比 1P以上増加 ↑↑
- 前年後期比 1P以上減少 ↓↓
- 前年後期比 増減1P以内 —

ODIについても混迷の今年度、100%ではなくとも教職員が可能なことを模索し工夫を重ねた姿勢を評価頂いた結果と解釈します。今後も続くと思われるこの状況ですが、評価維持が大切です。また、情報発信は文書・HP・新たなメールシステムを有効に活用し、ニーズに応えられるよう今後も努めます。